

## 宮城県加美農業高等学校

生徒の「消費者に安全安心な農作物を提供していきたい」という思いから、GAP認証取得に向けた取組がスタートし、令和2年1月にJGAP認証を取得。

代表者名：阿部 幸弘

所在地：宮城県加美郡色麻町

認証：JGAP(R2年)

面積：12ha

構成員：15名

品目：米(玄米)

### 取組の紹介

#### 【生産工程管理の改善の取組】

- 農業科作物部門の2・3学年が「課題研究」の授業の中でGAP認証取得に取り組んだ。生徒が栽培工程から出荷工程までの一連の流れを把握し、自ら考え、意見を交換し合いながら作業手順書の作成や環境整備を行った。



JGAP認証(維持)審査の様子

#### 【GAPの継続に向けた取組】

- GAP認証取得に取り組む生徒は年次進行で入れ替わるが、年度の後半に学年間の引継ぎの場を設けて、リーダーや次年度の改善点などを引き継ぎ、継続に向けた体制を維持。また、1学年の「総合実習」の授業で3学年がGAPの取組を紹介することで、次世代となる1学年のGAPの理解を促進。



道の駅での対面販売

#### 【経営の改善の取組とその効果】

- JGAP認証取得をPRし取引先の新規開拓を行った結果、JAのみへの出荷から、スーパー・県内道の駅・関東圏への販売等へも販路を拡大。

#### 【地域の牽引役としての貢献】

- JGAP認証農場として、GAPの実践を学ぶ現地研修会の開催に協力。認証取得後、認証審査の公開も含め現地研修を3回受入れ、県内の農業従事者や農業関係者、農業教育系教職員等がGAP認証について学ぶ機会として活用された。



現地研修会の様子

### ホームページ